２０１１年3月１５日

鳥取市長　竹内　功　様

日本共産党鳥取市議会議員団
団　長　　角谷敏男

東北地方太平洋沖地震への対応についての申し入れ

市民生活の向上に対するご尽力に敬意を表します。
さて、１１日午後に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内観測史上最大規模の地震であり、広範囲の地域で壊滅的被害が明らかになっています。

この巨大地震と大津波による被害者は、「万単位になることは間違いない」(宮城県警)と言われ、死者・行方不明者は関東大震災以来の大惨事になる恐れが強まっているとの報道とともに、原発事故による被害の拡大も否定できません。

こうした事態に対して、人命優先の立場からの救助・救出については、国はもとより地方自治体も最大限の取り組みをおこない、広く国民的な救援活動をおこなうことが強く求められています。

鳥取市は、過去に地震と火災による大惨事に直面しています。すでに市当局におかれましては、１３日に先遣隊及び給水支援隊の派遣や「震災・救援総合窓口」の開設をおこない、救援活動に取り組んでおられますが、ひきつづき、下記について申し入れします。

記

① 被災者の命と健康を守るために、医療・保健関係者の派遣をおこなうこと。
② 被災地の切実な要望に早急かつ最大限に応えるために、市が備蓄する災害用の食料・日常用品など物資の提供をおこなうこと。
③ 市民からの救援物資の提供は、事前の申し出の対応や後日取り扱いが可能になった場合など、市民の善意に応えてきめ細かく対応すること。
④ 救援募金について、募金箱の設置は各市庁舎・支所だけでなく、各公民館・保育所など広く市民に呼びかけていくこと。
⑤ 上下水道・道路などライフラインなどの復興・再建への支援をおこなう場合は、被災地の要望に最大限応えるように人的支援をおこなうこと。

(以上)